

期日	班	資料番号
10/20	1	1

令和元年度 香取市市民事業仕分け

事業名	短期人間ドック助成事業
担当部課	生活経済部市民課

香 取 市

事業シート（概要説明書）

予算事業名	短期人間ドック助成事業		事業開始年度	不明						
上位施策事業名			担当局・部名	生活経済部						
根拠法令等	香取市国民健康保険短期人間ドック助成事業実施要綱		担当課・係名	市民課国民健康保険班						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	宮崎博之						
実施の背景	1人当たりの医療費は年々の増加傾向にあり、国保財政の健全運営ため、医療費の抑制を図ることが重要である。									
目的 (何のために)	被保険者の健康管理や増進の一助とし、病気の早期発見、早期治療や保健指導の実施により重症化を予防し、将来的な医療費の抑制を図る。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	・40歳以上、かつ1年以上香取市国保被保険者である者		対象者数（全住民に対する割合）						
				18,821	人（24.6%）					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：）								
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：）								
		<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）								
事業内容 (手段、手法など)	事業内容									
	<ul style="list-style-type: none"> ・納付期限を過ぎた国民健康保険税を完納している者 ・助成は年度内1回 ・医療機関に予約後、受検前に申請 指定医療機関外では、特定健診実施基準で定める検査項目を実施していることが条件 ・検査結果を市が受領することに同意 ・質問票の記載 ・年度内の特定健診と重複受検していない、かつ受診する予定のない方 ・助成額は、人間ドックの検査費用の10分の7とし、2万円を限度とする ・検査費用については、指定医療機関の受検者は助成額を差し引いた額を医療機関に支払い、指定医療機関外の受検者は全額を支払い、後日助成金の交付請求を行う ・ホームページと広報紙（年2回）へ記事掲載 									
関連事業 (同一目的事業等)	特定健康診査等事業									
コスト	2019年度（予算）		2018年度（決算見込）		2017年度（決算）		2016年度（決算）			
	事業費合計		14,518千円		13,124千円		14,131千円		11,526千円	
	事業費内訳 (2018年度分)		<ul style="list-style-type: none"> ・短期人間ドック補助金 13,017,000円 ・郵便料 106,928円 							
	人件費	担当正職員	0.20人	1,440千円	0.25人	1,800千円	0.25人	1,775千円	0.25人	1,775千円
		臨時職員等	0.05人	125千円						
		人件費合計	0.25人	1,565千円	0.25人	1,800千円	0.25人	1,775千円	0.25人	1,775千円
総事業費		16,083千円		14,924千円		15,906千円		13,301千円		
財源内訳	国県支出金									
	国県支出金の内容									
	地方債									
	その他特財									
	その他特財の内容									
	一般財源		16,083千円		14,924千円		15,906千円		13,301千円	
財源合計		16,083千円		14,924千円		15,906千円		13,301千円		

事業シート（概要説明書）							
予算事業名		短期人間ドック助成事業			事業開始年度	不明	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2018年度	2017年度	2016年度
		助成件数		件	652	702	572
		助成額		千円	13,017	14,015	11,432
					/	/	/
				/	/	/	
単位当たりコスト	総事業費	/	助成件数	円	22,890	22,658	23,253
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	医療費抑制額を検証するのは困難であるので、実績を成果とする					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2018年度	2017年度	2016年度
		保健指導対象者		人	88	96	69
		保健指導実施者		人	25	19	21
			/	/	/		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>平成30年度より新たに指定医療機関に志津南クリニックを追加、市民の利便性が向上、事務処理が軽減されている。</p> <p>人間ドック助成利用者は、継続受検している方が多い。提出された受診結果は特定健診の実施者とみなし、特定健診の受診率の向上に加味される。</p> <p>提出された検査結果を活用し該当者には特定保健指導等を行い、生活習慣病の予防を図る。</p>						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>近隣の自治体 多古町：7割、7万円限度 東庄町：32,400円（東庄病院指定） 成田市：7割、上限なし</p> <p>神崎町：7割、3万円限度 銚子市：7割、3万円限度 神栖市：2万円（3年度間に一度）</p> <p>同規模の自治体 旭市：7割、3万円限度 四街道市：7割・2万5千円限度</p> <p>鎌ヶ谷市：5割、1万5千円限度 八街市：5割、2万円限度</p>						
特記事項							